

大会名 Competition	第66回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会 兼第47回NHK杯大会【男子準決勝】
No. A-2	Year Month Day Time 2011年6月26日 10:30
場所 Place	スポカルイン黒石



青森県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA 東北学院 78 ○	<table border="1"> <tr><td>18 1st 24</td></tr> <tr><td>22 2nd 14</td></tr> <tr><td>16 3rd 14</td></tr> <tr><td>22 4th 20</td></tr> <tr><td>OT</td></tr> </table>	18 1st 24	22 2nd 14	16 3rd 14	22 4th 20	OT	チームB 聖和学園 72 ●
18 1st 24							
22 2nd 14							
16 3rd 14							
22 4th 20							
OT							

主審:Referee
小野寺 浩 (秋田)
副審:Umpire
植田 浩司 (福島)
テーブル・オフィシャル:Table officials
弘前高校バスケットボール部

No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	阿部 翔太	CAP	27	0	12	3	3	4	/	佐藤 恭平	CAP	6	2	0	0	2
5	×	佐藤 聡太郎		6	1	1	1	2	5	/	片岡 陵		0	0	0	0	1
6	×	早坂 翼		11	1	2	4	1	6		門馬 拓未		-	-	-	-	0
7		高杉 駿		-	-	-	-	0	7	×	川嶋 賢治		9	1	2	2	2
8		山本 耕大		-	-	-	-	0	8	×	蜂谷 晃弘		20	0	9	2	4
9	×	佐藤 雄人		4	0	2	0	4	9	×	菊地 啓志		28	6	3	4	1
10		山崎 大地		-	-	-	-	0	10	×	牧野 良太		8	0	3	2	5
11		早坂 涼		-	-	-	-	0	11		高橋 和希		-	-	-	-	0
12		宮城 哲司		-	-	-	-	0	12	×	櫻井 亮実		1	0	0	1	3
13	×	石ヶ守 遼		28	0	12	4	0	13		成田 涼平		-	-	-	-	0
14		庄司 拓矢		-	-	-	-	0	14		樽沢 壱成		-	-	-	-	0
15	/	福川 龍也		2	0	1	0	2	15		松田 貴寛		-	-	-	-	0
16		梅津 諒平		-	-	-	-	0	16		菅原 孝伊智		-	-	-	-	0
17	/	菊地 啓斗		0	0	0	0	2	17		水間 昂平		-	-	-	-	0
18	/	平野 大輔		0	0	0	0	0	18		氏家 拓真		-	-	-	-	-
コーチ		帆足 直治							コーチ		渡邊 斌						
アコチ		加藤 寿							アコチ		櫻井 真之介						
合計				78	2	30	12	14	合計				72	9	17	11	18

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

宮城県勢同士の対決となった、男子準決勝。

第一ピリオド、両者ハーフコートマンツーマンで開始。序盤聖和⑨菊地のミドルシュート、スリーポイントシュートでリードを奪う。東北学院は、④阿部のミドルシュート、ドライブからの合わせで対抗する。東北学院18-24聖和学園

第二ピリオド、東北学院⑥早坂のスリーポイント、④阿部のリバウンドシュート、続けてリバウンドからのバスケットカウントで逆転。残り7分で聖和学園がタイムアウト。タイムアウト明け、聖和学園⑨菊地のスリーポイントで逆転すると、その後一進一退の攻防が続く。前半終了東北学院40-38聖和学園

第三ピリオド、聖和学園⑨菊地の連続スリーポイントシュートで再度逆点すると、プレッシャーディフェンスからのファストブレイクで加点。残り6分東北学院がタイムアウト。

タイムアウト明け、東北学院が3-2ゾーンに変えると聖和学園は攻め倦みシュートが入らなくなる。残り2分で東北学院が同点に追いつく。その後、東北学院⑤佐藤聡のスリーポイントなどでリードを奪う。東北学院56-52聖和学園で終了。

第四ピリオド、東北学院は3-2ゾーンのままでスタート。聖和学園はハイポストエリアの攻撃を中心に攻めるが、得点差が縮まらない。東北学院⑬石ヶ守のファストブレイクからのレイアップシュートがバスケットカウント。5点差となり、残り6分半、聖和学園タイムアウト。タイムアウト明けも東北学院の勢いは止まらず、スティールからのレイアップシュート、インサイドでファウルを貰いフリースローなどで、点差を10点に拡げる。残り4分、聖和学園タイムアウト。タイムアウト明け、聖和学園⑧蜂谷の連続得点で点差を縮めるが東北学院⑨佐藤雄と④阿部のハイロープレイのバスケットカウントで再び10点差となる。残り1分半、聖和学園はオールコートマンツーマンで仕掛けるが、追いつけず、78-72でゲーム終了。

文責 【 相馬・柏崎 】

大会名 Competition	第66回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会 兼第47回NHK杯大会【男子準決勝】
No. B-2	Year Month Day Time 2011年6月26日 10:30
場所 Place	スポカライン黒石



青森県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB
弘前実業	(17 1st 26 23 2nd 29 22 3rd 32 17 4th 29 OT)	能代工業
79 ●		116 ○

主審:Referee
芳賀 聡 (福島)
副審:Umpire
鈴木 勝則 (山形)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
弘前南高バスケットボール部

No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	葛西 崇臣	CAP	9	1	3	0	5	4	×	志水 一希		10	0	5	0	-
5	×	山崎 涉真		29	2	7	9	3	5	×	中村 正也	CAP	21	0	10	1	0
6	/	福沢 大輝		0	0	0	0	1	6	×	溝坂 太成		8	0	4	0	0
7	×	工藤 駿		10	2	2	0	1	7		田中 浩喜		-	-	-	-	0
8	×	渋谷 貴大		0	0	0	0	0	8	/	伊藤 健太		9	3	0	0	0
9	/	工藤 秀斗		0	0	0	0	1	9	/	中山 祐樹		26	0	12	2	0
10	/	最上 耕吉		2	0	1	0	0	10	/	熊谷 慎也		0	0	0	0	0
11	/	大下 友太郎		2	0	1	0	2	11	/	秋葉 真司		12	0	5	2	0
12	×	佐藤 壺成		15	5	0	0	0	12	×	野里 惇貴		2	0	1	0	0
13		佐藤 浩陽		-	-	-	-	0	13	/	土屋 真人		11	1	4	0	0
14	/	齊藤 悠介		0	0	0	0	0	14	/	金田 海郷		3	0	1	1	0
15	-	一戸 数麻		-	-	-	-	0	15	×	中島 強太		8	0	4	0	0
16		高谷 光輝		-	-	-	-	0	16	/	松本 大河		0	0	0	0	0
17	×	千葉 洸太		12	0	5	2	0	17	/	砥綿 啓伍		0	0	0	0	0
18		対馬 浄二		-	-	-	-	0	18	/	小田桐 匡志		6	1	1	1	-
コーチ		小野 公太郎							コーチ		佐藤 信長						
									コーチ		平山 智哉						
合計				79	10	19	11	13	合計				116	5	47	7	0

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

両チームともに、激しいマンツーマンDFで始まるなか、弘前実業⑤山崎のドライブからのレイアップシュートが決まる。しかし、すぐに能代工業⑬中島のジャンプシュートでお返りする。その後、両チームともにドライブからレイアップシュートを試みるが決まらない。能代工業の激しいマンツーマンDFから、能代工業④志水のレイアップシュートが決まり12-4とひろがる。弘前実業がたまたまタイムアウトを取る。タイムアウト後、弘前実業⑰千葉の連続ジャンプシュートやオフェンスリバウンドで流れをつかみ、14-10まで弘前実業は追い上げる。しかし、能代工業⑨中山の連続得点で24-17となり、残り30秒で、能代工業はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ、26-17能代工業リードで第1Qを終了する。

第2Qは能代工業の激しいマンツーマンDFに対し弘前実業⑦工藤のジャンプシュートや⑤山崎のバスケットボールカウントで奮起するも能代工業⑨中山の個人技で39-22とひろげられ、第2Q開始3分、弘前実業がタイムアウトをとる。タイムアウト後、両チーム、2-3のゾーンDFにディフェンスを変えた。弘前実業は能代工業のゾーンDFをアウトサイドから攻め、弘前実業⑱佐藤の3Pシュートや⑤山崎のジャンプシュートで、39-30まで追い上げる。残り1分30秒で、能代工業がオールコートのゾーンプレスをしかけ、55-40と引き離し、前半を終了する。

第3Qは能代工業2-3のゾーンDF、弘前実業はマンツーマンでスタートする。弘前実業④葛西を能代工業④志水にフェイスガードでタイトにディフェンスをさせ、流れをつかもうと試みたが、能代工業のオールコートのゾーンプレスにより、一気にリードをひろげられタイムアウトを請求する。それでも能代工業の流れは変わらない。87-62で第3Qを終了。

最終第4Qも能代工業のオールコートゾーンプレスからの2-3のゾーンDFは弘前実業を苦しめ、116-79で能代工業が決勝に駒を進めた。

大会名 Competition	第66回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会 兼第47回NHK杯大会【男子決勝】
NO. A-4	Year Month Day Time 2011年6月26日 13:30
場所 Place	スポカルイン黒石



青森県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA 東北学院 ● 77	<table border="1"> <tr><td>18 1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>22 2nd</td><td>26</td></tr> <tr><td>18 3rd</td><td>24</td></tr> <tr><td>19 4th</td><td>32</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	18 1st	17	22 2nd	26	18 3rd	24	19 4th	32	OT		チームB 能代工業 ○ 99
18 1st	17											
22 2nd	26											
18 3rd	24											
19 4th	32											
OT												

主審:Referee
藤垣庸二 (宮城)
副審:Umpire
丸谷浩基 (青森)
テーブルオフィシャル:Table officials
弘前南高校バスケットボール部

No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	阿部 翔太	CAP	20	0	8	4	5	4	×	志水 一希		11	1	4	0	1
5	×	佐藤 聡太郎		2	0	1	0	5	5	×	中村 正也	CAP	20	0	7	6	4
6	×	早坂 翼		19	5	2	0	2	6	×	溝坂 太成		9	0	4	1	2
7		高杉 駿		-	-	-	-	0	7		田中 浩喜		-	-	-	-	0
8		山本 耕大		-	-	-	-	0	8	/	伊藤 健太		0	0	0	0	0
9	×	佐藤 雄人		8	0	4	0	5	9	/	中山 祐樹		48	0	21	6	1
10		山崎 大地		-	-	-	-	0	10		熊谷 慎也		-	-	-	-	0
11		早坂 涼		-	-	-	-	0	11	/	秋葉 真司		9	0	2	5	0
12		宮城 哲司		-	-	-	-	0	12	×	野里 惇貴		2	0	1	0	0
13	×	石ヶ守 遼		14	0	7	0	2	13	/	土屋 真人		0	0	0	0	1
14	/	庄司 拓矢		2	0	1	0	0	14		金田 海郷		-	-	-	-	0
15	/	福川 龍也		8	0	4	0	2	15	×	中島 強太		0	0	0	0	0
16		梅津 諒平		-	-	-	-	0	16		松本 大河		-	-	-	-	0
17	/	菊地 啓斗		0	0	0	0	0	17		砥綿 啓伍		-	-	-	-	0
18	/	平野 大輔		4	0	2	0	0	18		小田桐 匡志		-	-	-	-	-
コーチ		帆足 直治							コーチ		嘉藤 喜隆						
Aコーチ		加藤 寿							Aコーチ		渡部 法宏						
合計				77	5	29	4	21	合計				99	1	39	18	9

※:×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q両チームともマンツーマンでスタートし、学院が9番のアリウープで先制する。対する能代は4番のジャンプシュートで対抗。能代は厳しいプレッシャーからリバウンドを奪取し、ブレイクへとつなぐバスケットを展開。学院は4番が起点となり、チャンスを活かす。残り9秒で学院6番が3Pを決め、18-15とするがそこから早い展開で能代9番がランニングプレイを決めて、第1Qを18-17の学院リードで終了。第2ピリオド能代はゾーンへと変化し、リバウンドからの9番、6番の速攻が決まり逆転。学院は13番の連続得点により、試合はここから一進一退の攻防となる。学院15番がルーズボールを頑張り加点、更に6番のミドルシュートが決まり、学院リードでこのゲーム最多の6点差と開く。能代は9番の1on1からの連続得点で、残り50秒で38-38の同点とする。そこから、能代が速攻から5番のファストブレイクで加点し、41-40でこのゲーム能代が初のリードを奪い、43-40で第2Qを終了。第3Q能代がスリークォーターからのゾーンプレスからハーフマンツーマンに移行し、学院のオフェンスリズムを崩す。ブロックショットから、9番のファストブレイクが決まり7点差として学院がタイムアウトを取る。タイムアウト後学院は、オールコートゾーンに変化させ、能代のミス誘発し、4番と15番のゴール下で得点し差を縮める。切り替えの早い能代は得点を決められても早い展開とし、9番の3連続得点と4番のスリーポイントで加点。対する学院も6番のスリーポイントで点差を広げない。能代がタイムアウト後のオフェンスで11番がリバウンドシュートを決め、最大の9点リードと広げ58-67で最終クォーターに突入。第4Q疲れが見え始めた学院に対し、能代は4番からの鮮やかなアシストパスを6番、9番、11番が確実にネットに沈め、76-63で学院がタイムアウト。学院は13番と4番のシュートで応戦するも、能代は手をゆるめず9番の得点で着実に得点し、最後は99-77で終了。今大会2年ぶりの東北大会優勝を果たした能代工業の走るバスケットが印象に残る試合であった。

大会名 Competition	第66回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会 兼第47回NHK杯大会【女子準決勝】
No. A-1	Year Month Day Time 2011年6月26日 9:00
場所 Place	スポカルイン黒石



青森県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB
聖和学園	(12 1st 16 25 2nd 15 8 3rd 12 13 4th 14 OT)	柴田女子
58 ○		57 ●

主審:Referee
北沢 あや子 (岩手)
副審:Umpire
小田中 涼子 (岩手)
テーブルオフィシャル:Table officials
黒石商業バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	青山	瑠衣 CAP	7	1	2	0	3	4	/	中野渡	唯	3	1	0	0	0
5	×	早坂	彰恵	20	0	10	0	3	5	×	関	有佑子 CAP	1	0	0	1	0
6	×	宮崎	わかな	7	0	3	1	2	6	/	牧野	美樹	0	0	0	0	0
7	×	高嶋	晴香	8	2	1	0	0	7	/	川崎	望美	0	0	0	0	0
8	/	須田	悠理	0	0	0	0	1	8		相澤	真美	-	-	-	-	0
9	×	澤田	七海	16	0	8	0	4	9	×	成田	あゆみ	19	0	8	3	2
10		須田	千尋	-	-	-	-	0	10		武石	華菜子	-	-	-	-	0
11	/	堀内	玲那	0	0	0	0	2	11		南	まゆ美	-	-	-	-	0
12		木村	穂希	-	-	-	-	0	12		工藤	可奈子	-	-	-	-	0
13		川村	晴香	-	-	-	-	0	13	×	笹野	葉月	4	0	2	0	3
14		村木	愛	-	-	-	-	0	14	×	中村	優花	18	0	6	6	2
15	/	吉田	怜良	0	0	0	0	0	15		斉藤	莉央	-	-	-	-	0
16		内海	知里	-	-	-	-	0	16		山中	星来	-	-	-	-	0
17		熊谷	菜奈	-	-	-	-	0	17	×	山形	美桜	12	2	3	0	1
18	/	島本	悠加	0	0	0	0	0	18		村田	彩加	-	-	-	-	0
コーチ		小野	裕						コーチ		小野	尚樹					
Aコーチ		黒田	智恵子						Aコーチ		中村	光宏					
合計				58	3	24	1	15	合計				57	3	19	10	8

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

試合の出だし、両チームともなかなか得点がないところに、聖和高校⑦高嶋の3Pシュートが決まる。その後すぐ柴田高校の反撃が始まり、⑨成田のゴール下の1対1でカウントワンスローを決める。聖和高校はベンチからの指示もあり、⑤早坂のポストプレイやカットインからオフェンスを組み立てる。一方柴田高校は、⑭中村にボールを持たせ、3ポイントやハイポストからのジャンプシュートを連続して決める。両者ディフェンスの強さに苦しみ、聖和高校12点、柴田高校16点のロースコアで第1Qを終える。

第2Q開始1分までに、聖和高校④青山のドライブと⑤早坂のゴール下のシュートで4点を連取し、16対16の同点となる。聖和高校はフロントコートにディフェンスを1人置き、残りの4人をバックコートに下げる布陣を敷き、センターラインを越えたボールマンにダブルチームをしかける策に出た。このディフェンスに柴田高校が戸惑い、聖和高校が9点差でリードしたところで、柴田高校がタイムアウトを取る。この後は一進一退の攻防により、第2Qを37対31の聖和高校リードで終える。

第3Qは聖和高校がファウルに苦しんだ。開始2分でチームファウルが3つとなり、その後1分間で5ファウルとなる。聖和高校は流れを変えるべくタイムアウトを取るも、柴田高校は⑭を中心に容赦のない攻撃を始め、残り数秒で速攻を決め、45対43と2点差にまで追いつけた。

最終Qが始まった直後、柴田高校⑭中村がゴール下でファウルをもらい、フリースローを着実に決めて同点となる。しかしその後、聖和高校⑤早坂の活躍により、6点をもぎ取った時点で柴田高校がタイムアウトを取る。タイムアウトの後、再び聖和高校のファウルがかさむ中、柴田高校⑨成田のジャンプシュートで逆転に成功する。この後は両者一步も譲らず、逆転・再逆転が繰り返される息の詰まるような攻防が展開される。残り44秒で聖和高校が1点リードしたところで、柴田高校がタイムアウトを取るも、痛恨のファウルを取られ、最後は聖和高校がボールをキープし、1点差で逃げ切った。最後まで観客を魅了する好ゲームとなった。

大会名 Competition	第66回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会 兼第47回NHK杯大会【女子準決勝】
No. B-1	Year Month Day Time 2011年6月26日 9:00
場所 Place	スポカルイン黒石



青森県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB															
山形商		湯沢翔北															
70	<table border="1"> <tr><td>13</td><td>1st</td><td>8</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>24</td><td>3rd</td><td>6</td></tr> <tr><td>21</td><td>4th</td><td>9</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	13	1st	8	12	2nd	15	24	3rd	6	21	4th	9		OT		38
13	1st	8															
12	2nd	15															
24	3rd	6															
21	4th	9															
	OT																
○		●															

主審:Referee
熊谷久美子 (青森)
副審:Umpire
富樫彰子 (宮城)
テーブルオフィシャルズ:Table officials
黒石高女子バスケットボール部

No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	横山史佳	CAP	24	0	10	4	1	4	／	伊藤文音		0	0	0	0	0
5	／	太田夏生		2	0	1	0	0	5	×	佐々木桃子	CAP	2	0	1	0	3
6	×	砂田早紀		13	0	6	1	2	6	×	小松佳緒里		2	0	1	0	4
7	×	大沼美琴		4	0	2	0	0	7	／	工藤愛里子		0	0	0	0	1
8	×	加藤臨		11	1	3	2	0	8	×	高橋ゆつき		12	0	5	2	4
9	×	飛塚真紀		2	0	0	2	2	9	×	佐藤光		5	1	1	0	5
10	／	本木麗香		3	0	1	1	1	10	×	加藤三津子		9	1	3	0	2
11	／	須藤さつき		0	0	0	0	0	11	／	関美咲子		8	2	1	0	3
12		高橋美緒		-	-	-	-	0	12	／	稲場紗友里		0	0	0	0	0
13	／	佐藤楓		0	0	0	0	0	13		鎌田怜実		-	-	-	-	0
14	／	清野真好		4	0	2	0	1	14		加賀谷真衣		-	-	-	-	0
15		鈴木智美		-	-	-	-	0	15		高橋春香		-	-	-	-	0
16		安彦菜菜		-	-	-	-	0	16	／	佐藤良奈		0	0	0	0	0
17		國井美砂		-	-	-	-	0	17		大野真湖		-	-	-	-	0
18	／	佐々木成穂美		7	0	2	3	0	18		高橋忍		-	-	-	-	0
コーチ		高橋仁							コーチ		嘉藤喜隆						
アコーチ		吉田佳代							アコーチ		渡部法宏						
合計				70	1	27	13	7	合計				38	4	12	2	22

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

4年ぶり3度目の優勝をねらう山形商業高校と、今年度統合により校名変更した湯沢翔北高校の対戦となった。両チームマンツーマンのスタート。開始早々エンドスローインから山形商業⑥仲野のジャンプシュートからスタート。序盤はお互い様子を見る形の重たい展開となった。ジャンプシュートが決まらず、なかなか得点が伸びない山形商業メンバーに対し、高橋監督の「がまんしろ」との指示。その後すぐに④大沼のジャンプシュート、⑥仲野のジャンプシュートが決まり、13対7で第1ピリオドを終了する。第2ピリオド、山形商業スローインでゲーム開始。湯沢翔北のディフェンスが激しくなり、残り7分13秒で山形商業がタイムアウトを請求。その後一進一退の攻防が続く。湯沢翔北⑩加藤が3ポイントを決めれば、山形商業はミスマッチを生かし、インサイドで得点を重ねる。25対23で山形商業2点リードで第2ピリオド終了。湯沢翔北の厳しいディフェンスが光ったピリオドとなった。

第3ピリオド山形商業スローインからゲームスタート。湯沢翔北⑨佐藤のジャンプシュートが決まり、25-25の同点。山形商業のディフェンスが激しくなりゲームが動き出す。山形商業はインサイドでの得点を重ね36対27となった残り6分09秒で湯沢翔北がタイムアウトを請求。湯沢翔北はマンツーマンから1-1-3のゾーンに変えて流れを呼び戻そうとするが、山形商業の激しいディフェンスを崩せず、徐々に点差が離れる。49対29で第3ピリオド終了。山形商業はこのピリオドを6失点に抑えた。第4ピリオド、湯沢翔北はディフェンスをマンツーマンに戻すが、流れを変えることはできない。サイズで上回る山形商業を前にシュートが決まらず、山形商業はリバウンドからの速攻により得点を重ねる展開となる。残り6分付近から徐々にメンバーを入れ替え、ゲーム終盤になっても走り続けた山形商業が70対38で快勝した。

大会名 Competition	第66回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会 兼第47回NHK杯大会【女子決勝】
No. A-3	Year Month Day Time 2011年6月26日 12:00
場所 Place	スポカライン黒石



青森県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA 聖和学園 66 ●	<table border="1"> <tr><td>20 1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>20 2nd</td><td>24</td></tr> <tr><td>7 3rd</td><td>32</td></tr> <tr><td>19 4th</td><td>17</td></tr> <tr><td colspan="2">OT</td></tr> </table>	20 1st	19	20 2nd	24	7 3rd	32	19 4th	17	OT		チームB 山形商 92 ○
20 1st	19											
20 2nd	24											
7 3rd	32											
19 4th	17											
OT												

主審:Referee
高城 邦 弘 (宮城)
副審:Umpire
成田 康 平 (青森)
テーブルオフィシャル:Table officials
黒石高女子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	青山 瑠衣	CAP	3	1	0	0	2	4	×	横 山 史 佳		26	0	11	4	2
5	×	早坂 彰恵		20	1	7	3	1	5	/	太 田 夏 生	CAP	0	0	0	0	-
6	×	宮崎 わかな		4	0	2	0	4	6	×	砂 田 早 紀		23	0	11	1	3
7	×	高嶋 晴香		14	3	2	1	3	7	×	大 沼 美 琴		8	0	3	2	2
8	/	須田 悠理		6	0	2	2	5	8	×	加 藤 臨		10	0	5	0	2
9	×	澤田 七海		17	0	6	5	2	9	×	飛 塚 真 紀		6	0	2	2	2
10		須田 千尋		-	-	-	-	0	10	/	本 木 麗 香		17	1	6	2	-
11	/	堀内 玲那		0	0	0	0	-	11	/	須 藤 さつき		0	0	0	0	-
12		木村 穂希		-	-	-	-	0	12		高 橋 美 緒		-	-	-	-	0
13		川村 晴香		-	-	-	-	0	13		佐 藤 楓		-	-	-	-	0
14	/	村木 愛		0	0	0	0	-	14	/	清 野 真 好		2	0	1	0	-
15		吉田 怜良		-	-	-	-	0	15		鈴 木 智 美		-	-	-	-	0
16		内海 知里		-	-	-	-	0	16	/	安 彦 菜 菜		0	0	0	0	-
17	/	熊谷 菜奈		0	0	0	0	-	17		國 井 美 砂		-	-	-	-	0
18	/	島本 悠加		2	0	1	0	2	18	/	佐々木 成穂美		0	0	0	0	-
コチ 小 野 裕								コチ 吉 田 佳 代									
Aコチ 黒 田 智 恵 子								Aコチ 佐 藤 千 穂									
合 計				66	5	20	11	19	合 計				92	1	39	11	11

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

ディフェンスは互いにマンツーマンでスタートする。立ち上がりのオフェンスは山形商業⑨鈴木のレイアップや④大沼のカットプレーなどで得点。対する聖和学園は⑨澤田のジャンプシュートや④青山の3Pで得点し、一進一退の攻防が続く。残り5分から聖和学園⑤早坂のインサイド、⑦高嶋の3Pなどで14-7とリズムをつかみ、山形商業がタイムアウトを請求。その後、山形商業⑧高橋のバスケットカウントなどで息を吹き返し、⑥仲野のジャンプシュートで16-17と逆転。その後一進一退のまま20-19と聖和学園のリードで終了。

第2Qは序盤から両チーム得点を重ね、山形商業ゴール下に果敢に攻め込むプレーや、⑥仲野のジャンプシュートで得点し、聖和学園がタイムアウトを請求。その後も聖和学園はターンオーバーが続く一方、山形商業は確実に加点し、④大沼のバスケットカウントで26-33とリードを広げる。しかし、聖和学園はディフェンスからリズムをつかみ、⑦須田や⑤早坂の3Pで点差を縮め、40-43で前半を終了する。

第3Qの立ち上がりは聖和学園が⑤早坂と⑨澤田のインサイドを起点に攻めるが、ターンオーバーが続き、山形商業⑧高橋のバスケットカウントなどで43-51とリードしたところで聖和学園がタイムアウトを請求。その後も山形商業の勢いが止まらず、④大沼や⑩黒田の連続得点で43-59とリードを広げ、聖和学園がたまたまに2回目のタイムアウトを請求。その後も聖和学園は山形商業のディフェンスを攻略できず、残り3分で⑨鈴木のフリースローで45-65とついに20点差。その後、聖和学園がオールコートマンツーマンを仕掛けるが、山形商業の勢いは止まらず47-75で第3Qが終了。

第4Qは聖和学園が再びインサイドを起点に攻め追い上げを図るが、山形商業は多彩な攻めから⑩黒田が要所で得点する。聖和学園も⑦高嶋の3Pやオールコートディフェンスで追い上げを図るが、点差は縮まることなく66-92で試合終了。

文責 【 平川、岡部 】